

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2024 年の開催に向け
8月1日（火）より世界公募をスタート

ライブアクション部門（インターナショナル/アジア インターナショナル/ジャパン）

ノンフィクション部門、アニメーション部門の各優秀賞を

米国アカデミー賞®短編部門へ推薦



SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA 2024

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）」は、2023年8月1日（火）より、2024年度の開催に向けたショートフィルム作品の募集を開始いたします。

<https://www.shortshorts.org/creators/jp/>

グランプリ ジョージルーカスアワードは、誰の手に！

今年6月に25回目の開催となる節目を迎えた SSFF & ASIA には、世界 120 の国と地域から集結した 5215 点の作品が集まり、約 200 作品が上映されました。

2004年に米国アカデミー賞公認の映画祭となり、映画祭グランプリ作品を翌年のオスカーノミネート候補として推薦してきた SSFF & ASIA は、2019年にはインターナショナル部門、アジア インターナショナル部門、ジャパン部門からなるライブアクション部門およびノンフィクション部門の4部門、そして2021年には新たにアニメーション部門の推薦枠が認められ、サンダンス映画祭やパームスプリングス映画祭と並ぶ合計5つの部門優秀賞に翌年のオスカー獲得へのパスポートを授与できる映画祭として成長してまいりました。

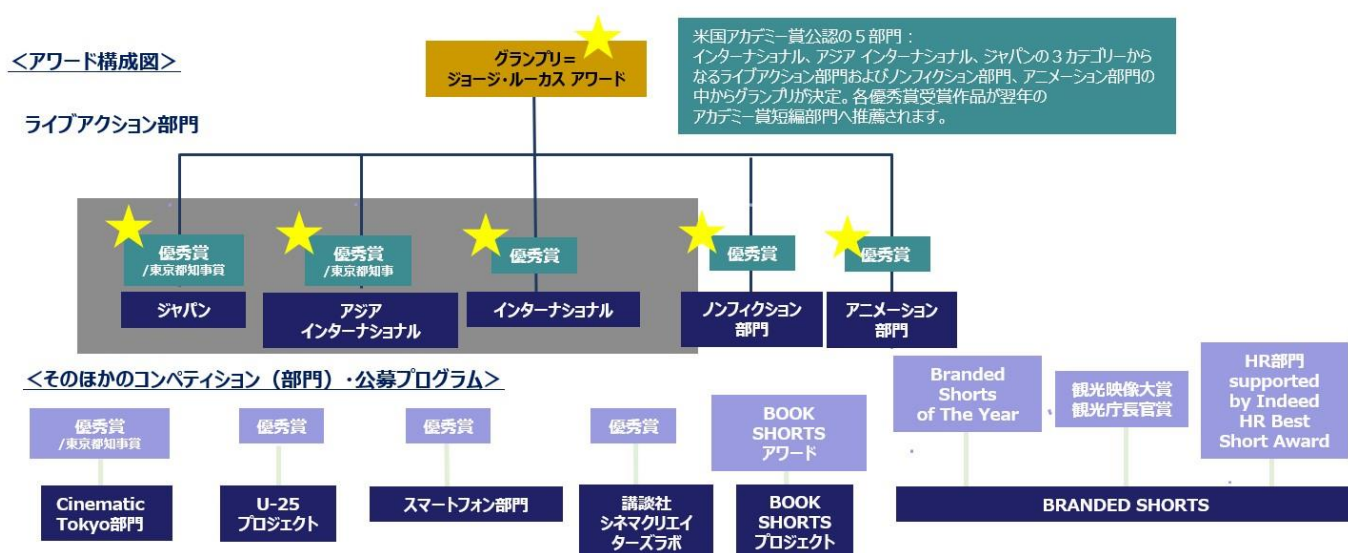
また、映画祭では、東京をテーマにした作品を募集する「Cinematic Tokyo 部門」、スマートフォンならではの新しい映像クリエイティブの創出を目指す「スマートフォン部門」、国内の 25 歳までの監督が制作した作品を対象に、5 分以下のショートフィルムを募集する「U-25 プロジェクト」、企業・行政によるブランデッドムービーを特集する「BRANDED SHORTS」、昔話やおとぎ話、民話、小説などの<二次創作>の短編小説を募集する「BOOK SHORTS アワード」といった多岐にわたる作品公募も同時スタート。

なお、映画祭全コンペティション入選作品の中から、「Be HAPPY with HOPPY」を掲げるホッピーの思いを体現する作品には「HOPPY HAPPY AWARD」を授与いたします。

「講談社が 1000 万円お支払い！ ショートフィルム企画を募集！」

さらに、第 2 回講談社シネマクリエイターズラボの募集もスタート。アニメ・CG・実写...心揺さぶる短編で世界の映画祭を目指そう！世界を、誰かの心を Inspire する、impossible な（=ありえない！）想像を超えた物語を一緒につくりたい、という映像クリエイターさんのご応募をお待ちしています！

世界のフィルムメイカーたちと並んで夢を掴み実現する映画祭として、SSFF & ASIA は 2024 年に向けて引き続き多くの素晴らしい作品に出合えることを楽しみにしています。



<SSFF & ASIA 2024 募集要項>

■募集部門：ライブアクション部門（インターナショナル/アジア インターナショナル/ジャパン）、ノンフィクション部門、アニメーション部門、Cinematic Tokyo 部門、スマートフォン部門、U-25 プロジェクト、BRANDED SHORTS、講談社シネマクリエイターズラボ、BOOK SHORTS アワード

■募集期間：2023 年 8 月 1 日（火）14：00 より開始 ※応募締切は各部門によって異なります

■応募方法・応募に関する詳細：SSFF & ASIA 2024 作品募集ページを参照ください

<https://www.shortshorts.org/creators/jp/>

■発表方法：ライブアクション部門、ノンフィクション部門、アニメーション部門入選候補作（ショートリスト）は各応募月の翌々月末にウェブサイトで発表。入選候補作品の中から、最終入選作品が選ばれます。

全部門の最終入選作品（映画祭で上映される作品）は 2024 年 4 月末までにウェブサイトで発表

■応募に関する問い合わせ先：submission@shortshorts.org

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、世界のショートフィルムの祭典へと発展。2004年には米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生しました。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年には映画祭20周年を記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となり、翌1月には、20周年記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」も開催しました。

2019年の映画祭からは、アカデミー賞推薦枠がインターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品へと拡大し、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 press@shortshorts.org

画像のダウンロード：https://drive.google.com/drive/folders/1_anqaxIXDt6hf4Yk2XBA-i9gSUr508SJ?usp=sharing